

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 コンビ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7935 URL <http://www.combi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松浦 弘昌

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 吉田 俊哉

TEL 03-5828-7661

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	19,405	△0.8	1,337	△15.6	1,325	△11.6	804	△24.7
21年3月期第3四半期	19,564	—	1,584	—	1,498	—	1,067	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	48.92	—
21年3月期第3四半期	60.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	24,871	16,782	67.2	1,016.53		
21年3月期	25,531	16,375	63.9	992.35		

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 16,708百万円 21年3月期 16,311百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	10.00	—		
22年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	4.5	1,190	△36.3	1,130	△35.3	680	△5.5	41.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 17,959,158株 21年3月期 17,959,158株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,521,984株 21年3月期 1,521,884株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 16,437,202株 21年3月期第3四半期 17,611,412株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】の「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、世界的な財政出動の支えや様々な施策などにより経済危機を脱しつつあるものの、依然として予断を許さない状況にあります。個人消費につきましても、雇用不安や所得環境の厳しさが一段と増している中で、改善に至るまでには程遠く、この事態が長引けば、景気の先行き不透明感がますます強くなってまいります。

こうした環境下、当社グループは、国内外市場において利益重視の販売戦略を継続するとともに、中国を中心にアジア市場における販売およびブランドの強化に努めてまいりました。

中国市場は引き続き好調に推移しておりますが、日本市場・米国市場では個人消費低迷が売上高および売上総利益率に相応の影響を及ぼしております。当社グループはこの状況に対応すべく、経費削減および原価低減に努めてまいりました。また、円高進行に伴う仕入高における為替差益のメリットも享受いたしましたが、第1四半期に計上しました法人税等の更正による影響などもあり、全体としては減収・減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は194億5百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益13億37百万円（同15.6%減）、経常利益13億25百万円（同11.6%減）、四半期純利益は8億4百万円（同24.7%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベビー用品・玩具関連事業

国内では、ベビー用品事業は、ベビーカーや紙おむつ処理ポット「ニオイ・クルルンポイ」は堅調だったものの、事業全体としては厳しい結果となりました。アパレル事業も、新規出店によるメリットがあったものの、個人消費低迷の影響を十分にカバーするまでには至らず、玩具関連事業も非常に厳しい結果となりました。

海外では、米国市場は、個人消費の低迷から未だ脱却できず、厳しい環境が続いておりますが、積極的な個人消費活動が継続している中国を中心に、経営資源の積極投入を推進した結果、アジア市場における事業展開は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は190億66百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は25億75百万円（同9.8%減）となりました。

② 健康関連用品事業

機能性食品事業については、食品素材事業が回復への兆しを見せておりますが、新規事業の初期投資費用の負担も依然として重く、非常に厳しい内容となりました。

この結果、同事業の売上高は3億38百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は△51百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

日本市場は、引き続き厳しい経済環境の下にあり、ベビー用品事業は好調なベビーカーや紙おむつ処理ポット「ニオイ・クルルンポイ」が牽引いたしましたが、市場からの価格引き下げ圧力の影響は依然として強く、事業全体としては厳しい結果となりました。

アパレル事業、玩具関連事業および外出関連事業も、ベビー用品事業以上に個人消費の低迷の影響を受け、非常に厳しい事業運営となりました。

この結果、同所在地の売上高は158億36百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は16億40百万円（同19.2%減）となりました。

② アジア

アジア市場においても、個人消費市場は厳しい環境にありますが、韓国市場における事業活動の定着に加え、新規市場の開拓に積極的に取り組むとともに、積極的な消費活動が継続している中国を拠点とする上海子会社が、好調に推移いたしました。

しかしながら、日本市場の厳しい状況を受け、グループ内取引高が減少するとともに、円高に伴う円貨換算表示における不利な影響も受けております。

この結果、同所在地の売上高は60億17百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は8億63百万円（同0.3%増）となりました。

③ 北米

北米市場における景気および個人消費の低迷の影響を受け、米国子会社は経費削減を中心に収益構造の見直しに取り組み、赤字幅の抑制に努めました。

この結果、同所在地の売上高は10億57百万円（前年同期比27.5%減）、営業利益は△7百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は248億71百万円となり、前連結会計年度末比6億59百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加10億60百万円、売掛金の減少3億22百万円、たな卸資産の減少6億11百万円、有価証券の減少9億69百万円と投資有価証券の増加2億68百万円によるものであります。

負債の部は80億89百万円となり、前連結会計年度末比10億66百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少7億27百万円、買掛金の減少1億83百万円によるものであります。

また、純資産は167億82百万円となり、前連結会計年度末比4億6百万円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金の増加4億75百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は44億90百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ10億12百万円減少し、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減の要因は次の通りであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第3四半期連結累計期間における営業活動におけるキャッシュ・フローは、9億92百万円（前年同四半期連結累計期間比34百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13億91百万円、売上債権の減少2億67百万円、たな卸資産の減少6億19百万円、及び法人税等の支払額12億40百万円によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△5億21百万円（前年同四半期連結累計期間比4億23百万円増）となりました。これは主に、定期預金の預入と払戻の差額△8億62百万円、有価証券の売却及び償還による収入1億円、投資有価証券の売却及び償還による収入と取得による支出の差額6億円、有形固定資産の取得3億85百万円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△2億2百万円（前年同四半期連結累計期間比1億73百万円増）となりました。これは主に、短期借入金の借入と返済の差額1億54百万円、配当金の支払い3億12百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表しました業績予想に変更ございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,430,196	6,369,459
受取手形及び売掛金	4,247,291	4,520,554
有価証券	942,724	1,911,831
たな卸資産	3,885,672	4,497,210
その他	717,460	761,575
貸倒引当金	△59,141	△75,966
流動資産合計	17,164,203	17,984,666
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,739,289	2,739,289
その他(純額)	2,390,312	2,476,576
有形固定資産合計	5,129,602	5,215,866
無形固定資産		
その他	317,092	328,061
無形固定資産合計	317,092	328,061
投資その他の資産	2,260,867	2,002,913
固定資産合計	7,707,561	7,546,842
資産合計	24,871,765	25,531,508

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,277,047	2,463,836
短期借入金	946,995	794,160
1年内償還予定の社債	—	1,000,000
未払法人税等	217,091	944,468
賞与引当金	129,916	336,649
役員賞与引当金	—	23,000
その他	1,711,953	1,789,538
流動負債合計	5,283,003	7,351,652
固定負債		
社債	2,000,000	1,000,000
退職給付引当金	39,603	—
役員退職慰労引当金	279,307	282,430
その他	487,493	521,815
固定負債合計	2,806,405	1,804,245
負債合計	8,089,408	9,155,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,991,922	2,991,922
資本剰余金	2,783,731	2,783,731
利益剰余金	12,950,855	12,475,511
自己株式	△1,077,038	△1,076,971
株主資本合計	17,649,471	17,174,194
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,331	10,016
繰延ヘッジ損益	△34,423	△13,961
為替換算調整勘定	△915,422	△858,739
評価・換算差額等合計	△940,514	△862,684
少数株主持分	73,400	64,100
純資産合計	16,782,356	16,375,610
負債純資産合計	24,871,765	25,531,508

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,564,111	19,405,345
売上原価	9,861,976	9,943,077
売上総利益	9,702,134	9,462,268
販売費及び一般管理費	8,117,614	8,124,506
営業利益	1,584,520	1,337,762
営業外収益		
受取利息	86,302	57,868
受取配当金	2,240	10,726
受取家賃	46,635	48,074
その他	39,946	54,810
営業外収益合計	175,124	171,479
営業外費用		
支払利息	38,532	39,358
売上割引	101,276	97,241
為替差損	107,832	34,606
その他	13,529	12,792
営業外費用合計	261,171	183,999
経常利益	1,498,473	1,325,242
特別利益		
前期損益修正益	30,555	—
固定資産売却益	559	713
貸倒引当金戻入額	—	76,158
投資有価証券売却益	4,145	29
補助金収入	299	149
受取保険金	12,083	—
特別利益合計	47,642	77,051
特別損失		
固定資産売却損	741	75
固定資産処分損	31,374	10,912
厚生年金基金脱退に伴う拠出金	13,389	—
特別損失合計	45,505	10,988
税金等調整前四半期純利益	1,500,611	1,391,304
法人税、住民税及び事業税	317,143	246,010
過年度法人税等	—	166,555
法人税等調整額	103,809	164,076
法人税等合計	420,953	576,642
少数株主利益	11,905	10,573
四半期純利益	1,067,752	804,088

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,500,611	1,391,304
減価償却費	530,599	480,997
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23,201	△83,343
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△215,145	△206,733
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,000	△23,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	39,603
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,310	△3,122
受取利息及び受取配当金	△88,543	△68,594
支払利息	38,532	39,358
為替差損益 (△は益)	76,815	44,797
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,145	△29
固定資産処分損益 (△は益)	31,374	10,912
固定資産売却損益 (△は益)	181	△638
売上債権の増減額 (△は増加)	493,294	267,884
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,303,837	619,181
仕入債務の増減額 (△は減少)	664,715	△360,738
その他	△443,143	85,385
小計	1,290,821	2,233,226
法人税等の支払額	△332,242	△1,240,700
法人税等の還付額	91	185
営業活動によるキャッシュ・フロー	958,669	992,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	60,314	70,390
定期預金の預入による支出	△1,906,021	△2,004,816
定期預金の払戻による収入	1,595,549	1,142,051
有価証券の取得による支出	△99,825	—
有価証券の売却及び償還による収入	60,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△392,275	△385,875
有形固定資産の売却による収入	15,620	2,124
無形固定資産の取得による支出	△63,587	△43,581
投資有価証券の取得による支出	△1,149,866	△300,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	964,363	900,104
その他	△29,956	△2,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△945,686	△521,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△42,530	△43,406
短期借入れによる収入	760,640	855,600
短期借入金の返済による支出	△637,629	△701,451
社債の発行による収入	—	1,000,000
社債の償還による支出	—	△1,000,000
自己株式の取得による支出	△86,660	△66
配当金の支払額	△369,087	△312,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△375,268	△202,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83,510	△2,841
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△445,795	265,803
現金及び現金同等物の期首残高	5,949,381	4,224,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,503,585	4,490,696

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	ベビー用品・ 玩具関連事業 (千円)	健康関連用品 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	19,234,665	329,445	19,564,111	—	19,564,111
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,234,665	329,445	19,564,111	—	19,564,111
営業利益	2,854,300	26,087	2,880,387	(1,295,867)	1,584,520

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	ベビー用品・ 玩具関連事業 (千円)	健康関連用品 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	19,066,810	338,534	19,405,345	—	19,405,345
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,066,810	338,534	19,405,345	—	19,405,345
営業利益又は営業損失 (△)	2,575,512	△51,255	2,524,256	(1,186,494)	1,337,762

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品等の名称

(1) 事業区分は、主要な製品系列による区分によっております。

(2) 各事業区分の主要な製品または事業の内容

事業区分	主要な製品又は事業名
ベビー用品・玩具関連事業	ベビー用品、ベビーカー、チャイルドシート、哺乳用品、 玩具、ベビーケア用品、ベビーアパレル、保育園運営等
健康関連用品事業	機能的食品等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	16,150,408	1,954,589	1,459,113	19,564,111	—	19,564,111
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	82,710	4,494,664	—	4,577,374	(4,577,374)	—
計	16,233,119	6,449,253	1,459,113	24,141,486	(4,577,374)	19,564,111
営業利益	2,029,635	861,049	35,015	2,925,700	(1,341,180)	1,584,520

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	15,756,435	2,591,768	1,057,141	19,405,345	—	19,405,345
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,749	3,425,724	—	3,505,473	(3,505,473)	—
計	15,836,185	6,017,492	1,057,141	22,910,819	(3,505,473)	19,405,345
営業利益又は営業損失(△)	1,640,014	863,844	△7,827	2,496,031	(1,158,269)	1,337,762

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

・アジア…中国、台湾、韓国 ・北米…米国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	2,328,570	1,470,326	30,384	3,829,281
II 連結売上高（千円）				19,564,111
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.9	7.5	0.2	19.6

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	2,443,481	1,057,225	22,183	3,522,890
II 連結売上高（千円）				19,405,345
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.6	5.4	0.1	18.2

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

・アジア…中国、台湾、韓国他 ・北米…米国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ベビー用品・玩具関連事業 (千円)	5,155,559	△24.7
健康関連用品事業 (千円)	136,539	△26.6
合計 (千円)	5,292,099	△24.7

- (注) 1. セグメント間の取引については、内部振替後の数値によっております (以下同様であります)。
 2. 金額は製造原価によっております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません (以下同様であります)。

(2) 受注状況

当社は受注生産は行っておりません。

(3) 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ベビー用品・玩具関連事業 (千円)	2,954,018	17.6
健康関連用品事業 (千円)	32,956	—
合計 (千円)	2,986,975	18.8

(4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ベビー用品・玩具関連事業 (千円)	19,066,810	△0.9
健康関連用品事業 (千円)	338,534	2.8
合計 (千円)	19,405,345	△0.8

(注) 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
(株)赤ちゃん本舗	2,520,720	12.9	2,697,263	13.9
ピップフジモト(株)	2,027,649	10.4	2,214,259	11.4
日本トイザラス(株)	2,128,715	10.9	2,168,134	11.2